



地震編



風水害・その他の災害編



マイタイムライン



災害の備え



ハザードマップ



保存版

# 海老名市 防災 ガイドブック



海老名市

## はじめに

私たちの住む海老名市では、近い将来「都心南部直下地震」、「南海トラフ巨大地震」等の大規模地震に加え、台風などの大雨により相模川を起因とする水害や土砂災害が予測されます。過去の大規模災害では、行政が全ての被災者を迅速に支援することが難しく、行政自身が被災して機能不全に陥るなど、「公助の限界」が明らかになりました。そのような場合、しばらくの間は、行政の支援を受けることなく、地域住民が自発的に助け合い、避難行動や救助活動、避難誘導、避難所運営等を行うことが重要になってきます。

突然やってくる自然災害を防ぐことはできませんが、事前に災害への対策や心構えを身につけておけば被害を最小限に抑えることができます。この「海老名市防災ガイドブック」は、いざというときに落ち着いて行動できるよう、災害ごとの対応、防災情報の入手方法や日ごろの備えなどを掲載していますので、ぜひご活用ください。

## 安心・安全を支える「自助」「共助」「公助」



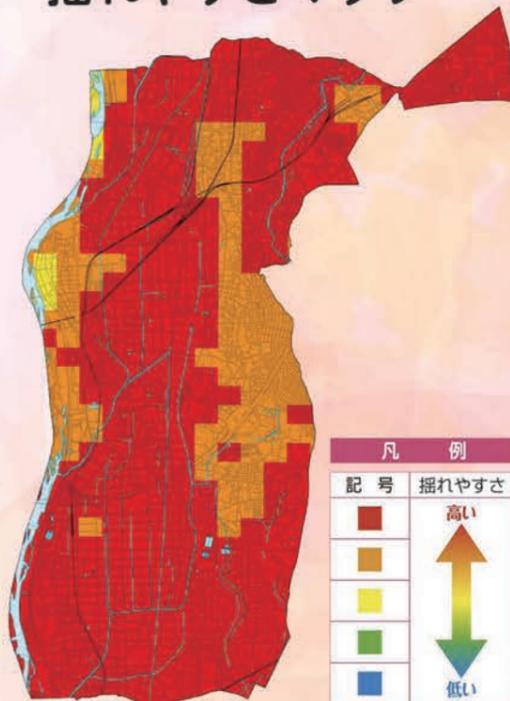
## ◆ も く じ ◆

 <b>地震編</b>	
● 知識	2
● 準備	4
● 実践	8
 <b>風水害・その他の災害編</b>	
● 知識	10
● 準備	17
● 実践	19
● その他の災害	22
 <b>マイタイムライン</b>	
● 風水害から身を守るための「マイタイムライン」	24
 <b>災害の備え</b>	
● 非常持出品・ペット	26
● 家庭内流通備蓄	27
● 情報の取得	28
● 避難所一覧表	29
 <b>ハザードマップ</b>	
● ハザードマップ目次	30
● ハザードマップ	31

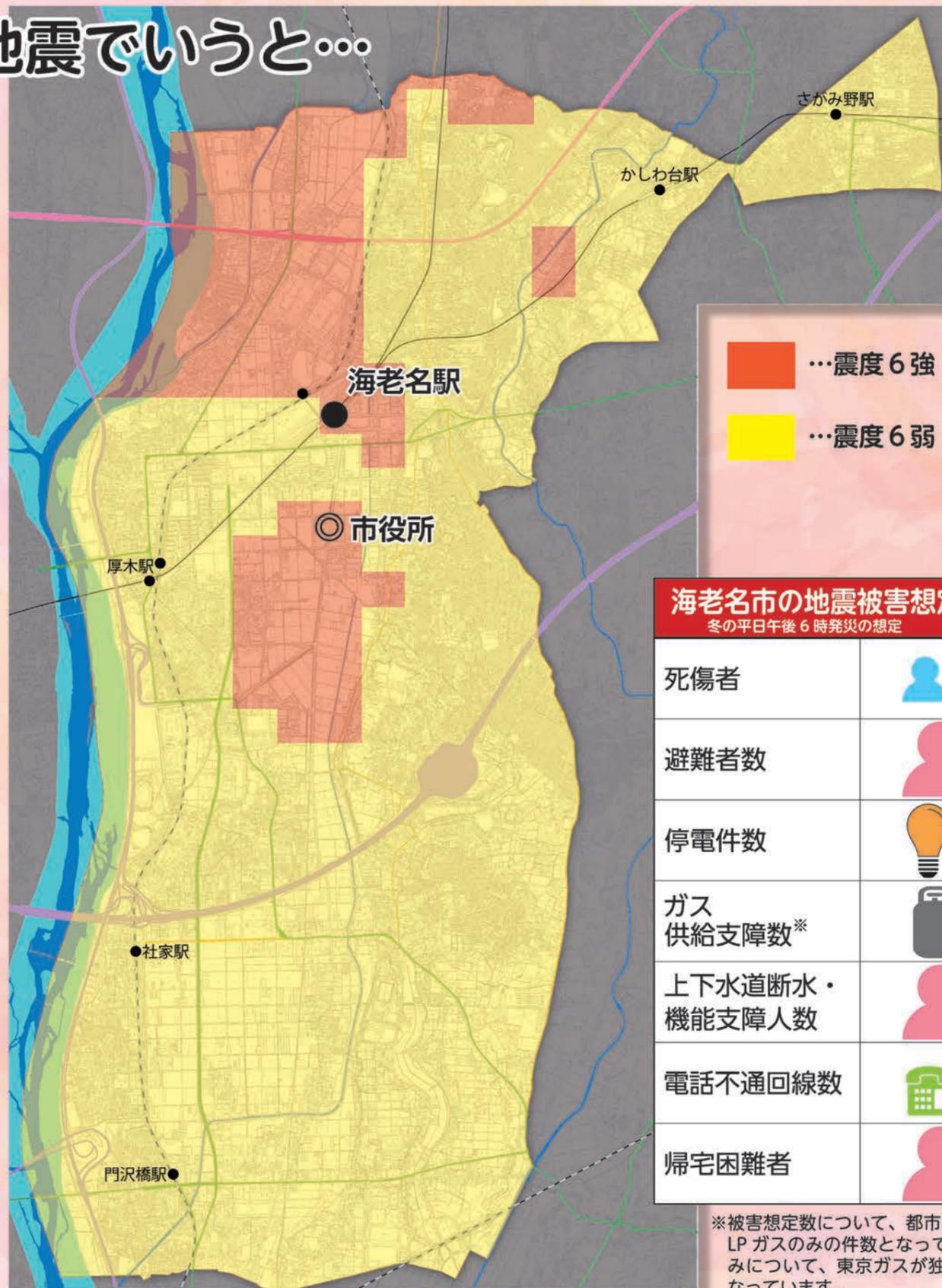
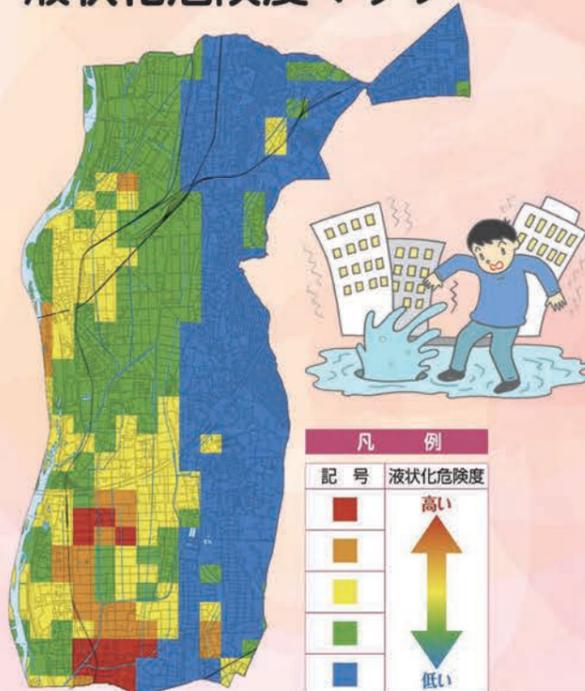
# 地震が起きたら海老名市はようになる？

都心南部直下地震でいうと...

揺れやすさマップ



液状化危険度マップ



- |           |  |
|-----------|--|
| <b>7</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。</li> <li>耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</li> </ul>                               |
| <b>6強</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>はわないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。</li> <li>耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。</li> </ul>                                  |
| <b>6弱</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>立っていることが困難になる。</li> <li>固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。</li> <li>壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> </ul> |
| <b>5強</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ものにつかまらなると歩くことが難しい。</li> <li>棚にある食器類や本が落ちてくる。</li> <li>固定されていない家具が倒れることがある。</li> <li>補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>                               |

海老名市の地震被害想定 人口：141,311人 世帯数：63,157世帯 (令和6年12月1日現在)			復旧の見込み
冬の平日午後6時発災の想定			
死傷者		950人	
避難者数		10,270人	
停電件数		77,240件	7日
ガス供給支障数*		300戸	42日 (都市)
上下水道断水・機能支障人数		21,310人	62日
電話不通回線数		44,820回線	7日
帰宅困難者		9,020人	

\*被害想定数について、都市ガスは未算定のため、LPガスのみの件数となっています。復旧の見込みについて、東京ガスが独自に算出した日数となっています。

出典：神奈川県地震被害想定調査報告書 (平成27年3月) より

# 地震に備える

家の中にも危険なものがたくさんあります。地震のときに室内の家具が倒れ、いざ避難しようとしたときに家具等が出口をふさぐこともあり、日ごろから家具を固定するなど安全対策が必要です。できることから実践し、絶えず見直し安全を高めていきましょう。



## 家の中の安全対策

### 家具のない安全なスペースを確保する

部屋が複数あり、人の出入りが少ない部屋がある場合、家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるような配置を考える。



### 寝室や子ども、高齢者や障がい者のいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは倒れた家具が妨げになって逃げ遅れる危険があります。



### 家具は倒れにくいように置く

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで壁や柱に寄りかかるように置く。また、家具の上に落ちやすいものは置かない。



### 出入り口や通路には物を置かない

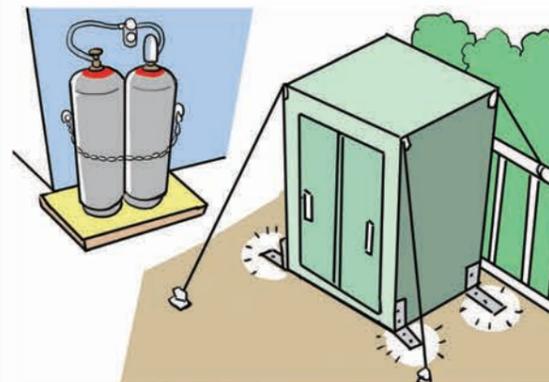
玄関までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざという時に出入口をふさいでしまうことがあります。



## 家の周囲の安全対策

### 家の周囲

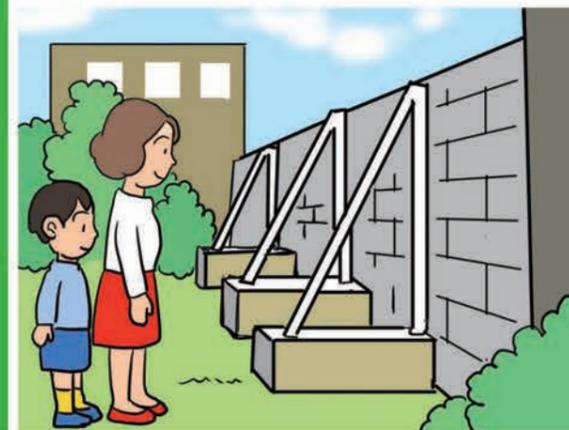
ガスボンベや給湯設備などの倒れては困るものは、確実に転倒防止の処置をしておく。



※土砂災害(特別)警戒区域内の方は特に注意が必要です。

### ブロック塀の補強

補強されていないと、倒壊の危険があります。耐震補強をしましょう。



### ベランダの避難ハッチ

日ごろから使用方法をよく確認しておく。避難器具の上や周りに物を置くのは厳禁。



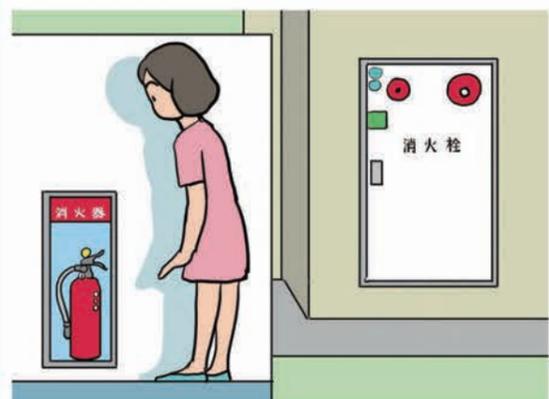
### 通路

避難や通行の妨げにならないように、自転車や物などは置かない。また、延焼防止のため、古新聞やダンボールなども置かない。特に非常扉の前や階段付近には要注意。



### 防災用具・防災設備

通路など共用部分に置いてある消火器や火災報知機などの場所を日ごろから確認しておく。消火器の有効期限を確認する。



### マンションなどの場合、管理組合からの連絡に注意

防災設備の点検や避難訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡には日ごろから注意する。訓練には積極的に参加する。



# 災害時のトイレを備えよう



## 災害時のトイレは備えが必要です。

このようにならないためにも「トイレ袋」を備蓄しましょう!!  
戸建にしている場合も下水管の無事が確認されるまでは、トイレの使用を控えてください。



## 携帯トイレの使い方

準備するもの：トイレ袋1セット、ポリ袋1枚

1



便座をあげて便器にポリ袋をかぶせます

2



便座をおろして、その上から携帯トイレの袋をかぶせます。

3



排せつがおわったら、便座につけた携帯トイレの袋を取り外して、口をしっかりしばります。

可燃ごみとして出す

水洗トイレが使えるようになるまで1カ月以上かかる場合があります。少なくとも7日分は備えておきましょう。

1日あたりの家族のトイレ回数×7日分が目安です。

# 自宅をチェック

- 昭和56年5月以前（旧建築基準法）の木造住宅である はい・いいえ

地震発生時は危険！耐震診断を受けましょう。  
木造住宅の場合は新建築基準法適用後の家でも耐震診断をしておきましょう。

- ブロック塀等は建築基準法に基づき設置されている はい・いいえ

地震や暴風時に危険！フェンス等への建替えを検討しましょう。

- 寝室は 階建ての 階である

浸水想定区域内に住んでいる方はなるべく2階以上を寝室にしましょう。

- 寝室は 東・西・南・北側にある

近くに崖や急斜面がある場合は、反対側の部屋を寝室にしましょう。

- 寝室にタンスが置いてある はい・いいえ

タンスを固定するかタンスが倒れても押しつぶされない場所を寝室にしましょう。

各部屋の家具（引き出しを含む）、食器棚（扉等を含む）、テーブル、テレビ等の固定や窓ガラスの飛散防止のチェックをしてみましょう。

階数	部屋の名称	家具などの固定				窓ガラス飛散防止	
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施
		全固定	一部固定	未固定	固定物なし	実施済み	未実施

# 自分自身の身を守る!!

## 地震発生

まずは身の安全を確保する



- ・転倒する可能性のある家具等から離れ、姿勢を低くする。

グラツキたら「シェイクアウト」安全確保行動 1-2-3 で身を守る



## 1～5分 家族の安全を確認



- ・火の元の確認をする。出火していたら初期消火。



- ・揺れがおさまったら避難口を確保する。
- ・家族の安全を確認し、余震に注意する。



震度5弱以上で活用 居住者全員の無事が確認できたら…

## 「安否確認フラッグ」の掲出を!!

市では、地震災害時の安否確認を迅速に行うため、家族全員の無事が確認できた場合、玄関のドアのノブ等に「安否確認フラッグ」を掲げる取り組みを行っています。震度5弱以上の地震が発生したときは、この黄色い「安否確認フラッグ」を掲げることで、救助隊や近隣の人に「うちの家族は無事です」と知らせることができます。皆様のご協力をお願いします。

また、紛失してしまい手元にない方は、黄色のタオル等で代用し、掲出しましょう。



## 避難するときの服装

頭部はヘルメットや防災ずきんで保護する  
 長袖、長ズボンを着用

リュックサックなどを使用し両手がふさがらないようにする  
 軍手などの手袋を着用



底の厚い履き慣れた靴を履く

## 南海トラフ巨大地震

気象庁が南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）を発表した時は、震源が離れた場所であっても、その地震に連動して関東・東海地方でも数時間～1週間後に大きな地震が起きる可能性があります。また、海老名市内では、津波の浸水想定区域はありませんが、海岸近くにいた場合は津波のおそれがあるのですぐに海岸から離れ、高台に避難しましょう。南海トラフ地震関連情報にも注意しましょう。



## 5～10分 近隣の安全の確認と正確な情報を得る



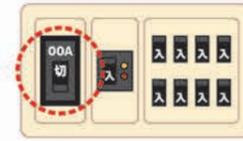
- ・テレビやラジオ、消防署、行政などから正しい情報を集める。



- ・倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



- ・ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落として出火防止。



- ・家屋倒壊のおそれがあれば、避難所などに避難する。家が安全であれば在宅避難。

## 備蓄していた生活必需品で賄う 数時間後～3日目



- ・各家庭で最低3日分（できれば1週間分程度）の生活必需品を用意。
- ・市の広報等の情報に注意する。

## 生活の維持・避難所での生活

- ・備蓄食料などでしのぎながら、必要に応じて避難所で避難者登録をし、食料などを調達する。
- ・避難所ではルールを守り、避難者も役割分担をして助け合いながら生活する。

## 4日目以降



通電火災を防ぐには…

## 「感震ブレーカー」が効果的

感震ブレーカーは設定値以上の震度の地震発生時に、自動的に電気の供給を遮断するものであり、家庭に設置することで通電火災を防止し、被害を大きく軽減することができます。

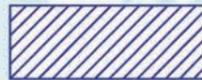
なお、夜間に地震が発生した場合に照明が消えることで、屋外への迅速かつ安全な避難の妨げになることも考えられるため、非常灯も準備しましょう。



# 海老名市ではどんな風水害が起こるの？

風水害編 (知識)

風水害編 (知識)

-  河川の浸水想定区域
-  土砂災害警戒区域
-  内水浸水想定区域



相模川が氾濫すると、海老名市の西側のほとんどが浸水の危険があるみたいや。

城山ダムの緊急放流等により相模川が氾濫するおそれがある場合には、市から**避難指示**を発令します。相模川の浸水想定区域内にお住まいの方は、市の東側の高台等の安全な場所へ早めに避難をしてください。



永池川

海老名市には相模川のほかに目久尻川・鳩川・永池川が流れていますが、これらの川沿いでも洪水による浸水被害が想定されます。



東側は標高が高くなっているや。相模川の洪水の影響は少なそうだけど…



急斜面が**土砂災害警戒区域**に指定され、大雨の時はがけ崩れの危険があります。



東柏ヶ谷など川沿い以外の住宅街でも内水の危険があるにや。



排水施設の能力を超える大雨や、河川の水位上昇によって雨水が排水しきれずに発生する内水による浸水も想定されます。



相模川の浸水継続時間マップ



-  12時間以内の区域
-  12時間～24時間未満の区域
-  24時間～72時間未満の区域

※浸水深が50cm以上になってから50cmを下回るまでの時間を示すもの

# 警戒レベルと避難情報

## 〈避難情報など〉

警戒レベル	市が発表する避難情報	市民のとりべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保	既に災害が発生しており、命を守るための最善の行動をとる
警戒レベル4	避難指示	危険な場所から全員避難する
警戒レベル3	高齢者等避難	高齢者、障がい者等避難に時間のかかる人は避難する その他の人はすぐに避難できるように準備する
警戒レベル2	—	避難行動を確認する
警戒レベル1	—	災害の心構えを高める

避難指示が発令されたら必ず避難しないとイケないのにかや？

対象の危険な区域に住んでいる人は避難してください。土砂災害の場合は、土砂災害警戒区域を対象に発令されるよ。区域内の方は避難してね。

高齢者等避難が発令された時は誰が避難すれば良いのにかや？

高齢の方や障がいのある方、乳幼児をお連れの方など避難に時間がかかる方は避難してね。その他の方は避難の準備をしてね。でも、危険を感じたときには早めに自らの判断で行動してね。



# 防災気象情報

大雨による危険が迫った場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。警報の基準をはるかに超える豪雨が予測され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合は、「特別警報」が発表されます。

※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。



## 大雨警報等の発表基準

種類	内容	
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予測され、もしくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想されるとき	
記録的短時間大雨情報	大雨警報発表中に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、まれにしか観測しない雨量であることを知らせるとき	
顕著な大雨に関する情報（線状降水帯）	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けているとき	
警報	大雨警報	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき
	洪水警報	河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき
注意報	大雨注意報	大雨による災害が発生するおそれがあると予想したとき
	洪水注意報	河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想したとき
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバーストなど激しい突風に対して注意を知らせるとき	

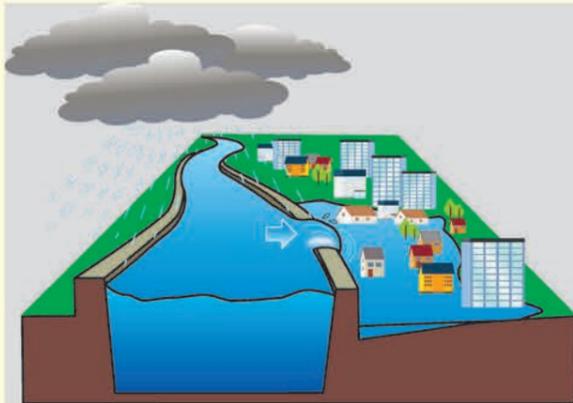
## 風の強さと吹き方

	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風の強さと（速さの目安） 予報用語	10～15 m/s （一般道路の自動車）	15～20 m/s （高速道路の自動車）	20～30 m/s	30～40 m/s 以上 （特急列車）
人への影響	風に向かって歩かなくなる	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出てくる	何かにつかまっていなくて立っていられない	屋外での行動は極めて危険

## 雨の強さと降り方

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
時間の雨量と予報用語	10～20mm 未満	20～30mm 未満	30～50mm 未満	50～80mm 未満	80mm 以上
雨のイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。ゴーゴーと降り続く。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

洪水とは



河川の氾濫または堤防の決壊により発生する浸水。海老名市では西側を流れる相模川のほか、目久尻川、鳩川、永池川で大雨による洪水を想定している。河川ごとに想定雨量は異なり、30ページからのハザードマップでは、相模川では48時間雨量567mm、目久尻川で24時間総雨量398mm、鳩川で24時間総雨量326mm、永池川で24時間総雨量304mmをそれぞれ想定し、浸水被害予測を掲載している。

内水とは

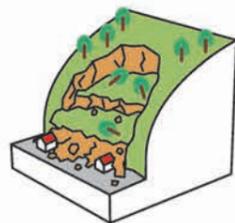


排水施設の能力を超える大雨や河川の水位の上昇によって、雨水が排出されずに発生する浸水。河川周辺でなくても発生し、坂の下や一部低地になっているところでも発生する。海老名市では雨水の排水能力である時間雨量50mmを超えた時や、ゲリラ豪雨など局所的な大雨があった場合、小規模に起こる場合もある。30ページからのハザードマップでは、1時間雨量153mmを想定し、被害予想を掲載している。

土砂災害

土砂災害の種類と前兆

土砂災害とは、台風や集中豪雨等による長雨、大雨、豪雨または地震を原因として発生します。土砂災害は予想が非常に難しく、発生した場合は被害が大きいことがあげられます。

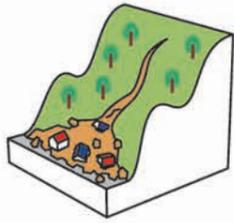


地すべり

緩やかな斜面で、滑りやすい地層に雨水がしみ込み、その影響で地面が動き出す現象です。

//////こんな前兆に注意!!//////

- ・雨が降り続けているのに、川の水が減る
- ・川が急に濁ったり、流木が混ざり始める
- ・木の裂ける音がする

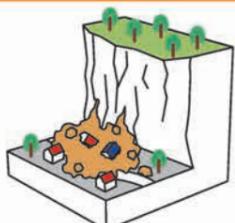


土石流

山腹や谷底の土砂や岩石等が集中豪雨などによって一気に下流へ押し流れ出る現象です。

//////こんな前兆に注意!!//////

- ・流水や池等が濁る
- ・木の騒ぐ音、裂ける音がする
- ・ひび割れ、段差ができる
- ・水が噴き出す
- ・道路などにひび割れ、電柱が傾く



急傾斜地の崩壊 (がけくずれ)

雨や地震などの影響によって土の抵抗が弱まり突然斜面が崩れ落ちる現象です。

//////こんな前兆に注意!!//////

- ・斜面がひび割れる
- ・小石がばらばら落ちる
- ・木が傾いたり倒れる
- ・湧水が止まる。または噴き出る

海老名市では急傾斜地の崩壊(がけくずれ)のみが対象となります

土砂災害警戒情報

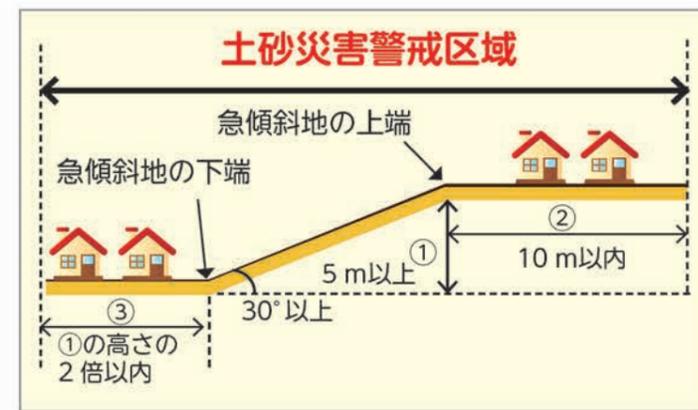
大雨警報(土砂災害)が発表されている状況で、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。



土砂災害警戒区域

急傾斜地は崩れ落ちるまでの時間が短く、住宅の近くでは逃げ遅れにより、人命を奪うことがあります。土砂災害ハザードマップ(31ページ~37ページ)で土砂災害のおそれのある区域をご確認ください。

- ①傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- ②急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- ③急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内(50mを超える場合は50m)の区域



土砂災害から身を守るためには

1 土砂災害警戒区域の外に出る

土砂災害の前兆現象と思われるものがあるときや、不安を感じたら避難指示などがなくても早めに土砂災害警戒区域の外に出るようにしましょう。



2 何か起きてからでは避難できない

土砂災害は、そのスピードとパワーが凄まじいため、災害が起きてから避難しようとしても、間に合いません。雨が弱いうちに早めの避難行動をとりましょう。



3 避難する際には十分な注意を

夜間の避難は危険ですので、明るいうちに避難を完了できるようにしましょう。どうしても屋外への避難が困難な状況などやむを得ない場合には、斜面とは反対側の2階以上の部屋へ移動しましょう。

4 自らの身は自らで守る

ヘルメット等で頭を保護し、動きやすい長袖と長ズボンを着用しましょう。足元は普段から履き慣れた底が厚めの靴を履きましょう。



## 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域

### 土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

土砂災害警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

#### ■ 急傾斜地の崩壊（がけくずれ）

1. 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
2. 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
3. 急傾斜地の下端から急傾斜地高さの2倍（50mを超える場合は50m）以内の区域

#### ■ 土石流

土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

#### ■ 地すべり

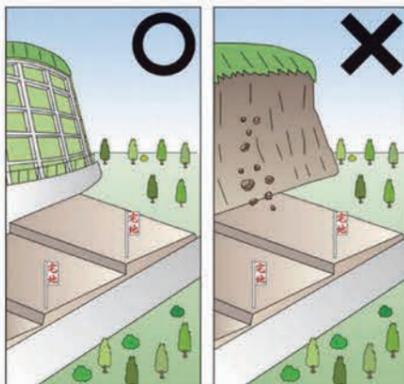
1. 地滑り区域（地滑りしている区域または地滑りするおそれのある区域）
2. 地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離（250mを超える場合は、250m）の範囲内の区域

### 土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

土砂災害特別警戒区域とは、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

## 土砂災害特別警戒区域の制限

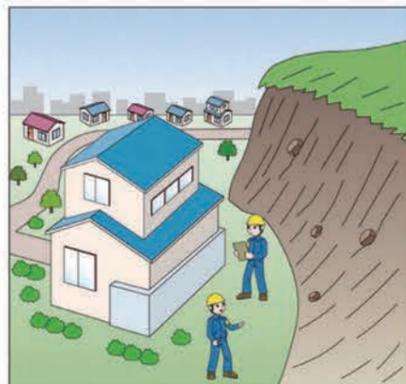
#### 特定開発行為に対する許可制



住宅宅地分譲や要配慮者利用施設の建築のための行為は、基準に従ったものに限って許可されます。

【都道府県】

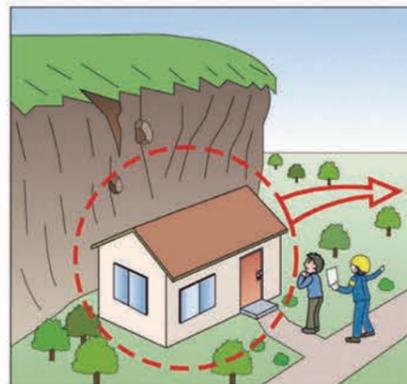
#### 建築物の構造規制



居室を有する建築物は、建築基準法に定められた、作用すると想定される衝撃等に対して建築物の構造が安全かどうか建築確認がされます。

【都道府県または市町村※】  
※海老名市は県が所管

#### 建築物の移転等の勧告



著しい損壊が生じるおそれのある建築物の所有者等に対し、移転等の勧告が図られます。移転等については、住宅金融支援機構の融資等の支援を受けられます。

【都道府県】

## 風水害に備える

### 屋外の備え

#### ベランダ

・植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

#### プロパンガス

・倒れないようにしっかり固定していますか

#### 玄関

・自転車や植木鉢等、出入りの支障となるものを置いてませんか

#### 屋根・雨どい

・不安定なアンテナはありませんか  
・トタンがめくけていませんか  
・瓦のひび・割れ・はがれはありませんか  
・雨どいにゴミや木の葉は溜まっていませんか

#### 窓

・窓枠のがたつきはありませんか  
・雨戸のがたつきはありませんか

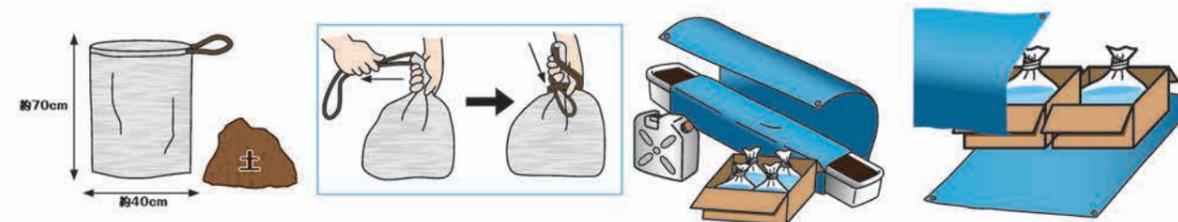
#### ブロック塀

・傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

## 家庭でできる浸水対策

### 簡易水防工法

水深が浅い場合は、土のう（無い場合は水のう）を設置することで、建物への浸水を防ぐことができます。簡易的な措置として、植栽用プランターや石油用のポリタンク、長めの板（はしごやテーブルでも）等を、ビニールシートで包んで設置してもよいでしょう。道路よりも建物が低い場合や、地下室がある場合などは、止水板を設置しておく、より効果的です。



### 排水設備の点検・清掃

雨水ますや側溝の周辺にゴミがたまることで、雨水が流れず、浸水の危険性が高まります。地下や半地下では、排水ポンプの故障による浸水被害の危険もあります。定期的な排水設備の点検、排水溝や雨水ますにゴミや落葉がつかまっていないかなど確認を心がけましょう。



## 風が強いとき

### 路上では

強風で看板が飛んだり、街路樹などが倒れたりする危険があります。近くの頑丈な建物に避難を。ただし、雨を伴う強風の際には、地下室や地下街に逃げ込まないようにしてください。



### 屋内では

風圧や飛来物で窓ガラスが割れ、破片が吹き飛ばすことがあります。内側からガムテープを貼り、カーテンを閉めておきましょう。風が強いうちは窓に近づかないようにしてください。



### 海辺では

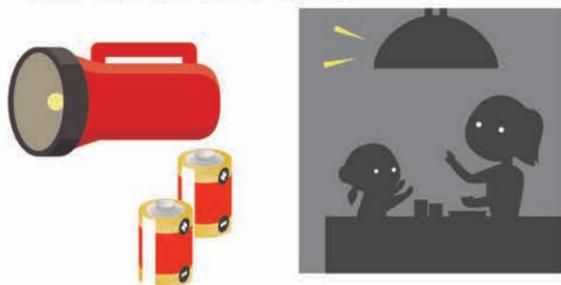
海への転落や高波に巻き込まれる危険があります。また、高潮の恐れもあるので、速やかに高台へ避難しましょう。強風や豪雨の際には、警報が聞こえないこともあるので十分に注意してください。



## 停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオの予備電池を準備しましょう。

- ・車への給油は済ませておく
- ・携帯電話の充電をしておく



## 防災知識の普及

防災対策においては、まず住民一人ひとりが防災に関心を持ち、準備することが重要です。地域に防災知識を普及させるため、みんなが集まって楽しいイベントなどを開催してみましょう。



## 断水に備える

飲料水を確保する。また、浴槽に水を張るなどして、洗濯などの生活水の確保も。



## 防災巡視・防災点検

防災の基本は、自分の住むまちを良く知ることです。地域内の危険箇所や防災上の問題点を洗い出し、対策を考えておきましょう。



# 自らの判断で避難行動を

## 危険を感じたらすぐ避難

近年、台風による大雨などにより逃げ遅れた住民が被害を受けるケースが多くあります。特に突発的な集中豪雨では、避難指示等の発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されなくても、危険を感じたら避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

風水害では事前に気象情報等入手することができるため、正しい情報の入手と早めの避難行動が重要です。



### 「命を守る避難行動」 水平避難と垂直避難

大雨の際には、優先①、優先②のように早めに安全な場所へ避難する「水平避難」が原則です。しかし、夜間や急激な雨などで家の外に避難することが、かえって命に危険を及ぼしかねない時は、がけや川から離れた2階以上のより安全な場所へ移動し安全確保「垂直避難」することが重要です。

## 避難判断のポイント

### 大雨のときには早めに

土砂災害警戒区域に住んでいる人は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表されたとき。



### 暗くなる前に

夜間に大雨が予測される際には、暗くなる前に避難することがより安全です。高齢者など要配慮者がいる場合は、移動時間を考えて早めに行動しましょう。



### 避難に関する情報が発令された時

市から警戒レベル3高齢者等避難、警戒レベル4避難指示が発令されたとき。



## 「マイ避難所」の検討

- 避難先は、公共施設ではありません。自分に適した避難先をあらかじめ検討します。
- 台風などの一過性の災害に限り、感染症防止の観点から3密を避けるために車両避難も有効です。ただし、豪雨時の移動は危険であるとともに、立体駐車場などの浸水しない場所を選ぶなど、周囲の状況を十分確認します。



# ペット避難

## ペットの受入れ

令和元年台風第19号では、過去最大の約5,000人の市民が避難所へ避難した一方、自宅にペットがいるために避難しなかった人が多くいました。

市は、「生命あるものを大切に」、「逃げ遅れを防ぐ」という観点から、令和4年2月1日から、災害時などに開設する全ての避難所でペットの受入れを開始しました。

なお、開設する避難所は、P29の避難所予定施設となります。

## 受入れ可能なペットの種類

ペットのうち、犬・猫・小動物等で、飼い主の責任において飼育できるもの

※環境省で定める特定動物(危険な動物)、爬虫類、魚類などのヒーター、エアポンプなど付帯設備を必要とする動物の受入れはできません。



## 受入れ可能なペットの条件

①ケージや容器を持参し、その中で生活ができること。また、容器に入らないペットについては、リードで係留できること。

※所有者が分かるようにケージ、容器、リードに名前を明示しましょう。

②ペット用のフード、水、トイレ用品などの生活用品を用意していること。

### 〈犬について〉

犬の場合は上記の条件に加えて、鑑札・狂犬病予防注射済票が装着されていることが受け入れ条件です。なお、疾病などで狂犬病予防注射を受けられなかった犬については、動物病院で発行される「狂犬病予防注射猶予証明書」をご提示ください。

## 避難のイメージ

避難所には、動物が苦手な人、アレルギーがある人などの様々な人が集まるため、ペットは避難所内のペット専用スペースでケージなどで飼い主が管理します。市の避難所に行くときは、ペットフード、水などの持ち出し品を持参してください。被害状況が落ち着いた後は、帰宅します。自宅に居住できない場合は、ペット避難所として運営される北部公園体育館に移動します。



# 立体駐車場への避難

## 立体駐車場への避難

市では、令和元年台風第19号での教訓を踏まえ、相模川の氾濫のおそれがある場合に、市民などが車両などで緊急避難できる場所を確保するため、市内の立体駐車場などを有する企業に約7,500台分の駐車スペースを無料で開放していただく、「水害時緊急避難場所としての駐車場の一時使用に関する協定」を締結しています。

立体駐車場などへ避難するときには、食料や飲料のほか、トイレ袋を持っていきましょう。また、エコノミークラス症候群の予防に弾性ストッキングなども用意しておきましょう。

## 水害時緊急避難場所

### 協定締結店舗位置図



**注意事項**  
水害時緊急避難場所は、**城山ダムが緊急放流を行う恐れがある場合のみ**、開放します。通常の雨や台風では利用できませんのでご注意ください。

令和6年12月現在

店舗名(企業名)	所在地	駐車台数(2階以上)
1 フラワーランド海老名店 (株式会社フラワーランド)	柏ヶ谷4-12-1	127台
2 ららぽーと海老名 (三井不動産株式会社)	扇町13-1	1,660台
3 ビナフロント (株式会社小田急SCディベロップメント)	中央1-2-2	65台
4 ギアネクスト海老名駅前店 (株式会社ギア)	中央1-3-1	250台
5 ビナウォーク (株式会社小田急SCディベロップメント)	中央1-4-1	1,230台
6 イオン海老名店 (イオンリテール株式会社)	中央2-4-1	890台
7 ダイエー海老名店 (株式会社ダイエー)	中央3-2-5	521台
8 キコーナ海老名店 (アンダーツリー株式会社)	河原口4-5-6	699台
9 島忠海老名店 (株式会社島忠)	大谷北1-1-1	331台
10 フードワン海老名店 (株式会社三和)	本郷1568-1	344台
11 ニラク海老名本郷店 (株式会社ニラク)	本郷2410-1	452台
12 かしわ台スクエア駐車場 (株式会社相鉄アーバンクリエイツ)	柏ヶ谷3-6-3	233台
13 エイビイ海老名店 (株式会社エイヴィ)	泉2-5-1	189台
14 アビバ海老名店 (株式会社アビバ)	中央2-9-55	555台
合計		7,546台

# その他の災害

## 大規模火災

大きな地震で火災が発生したとき、消火活動ができずに火が燃え広がったり、通常の火災でも強風にあおられ広範囲に延焼する大規模火災が起きたときは、風向きに注意し、風上側の広域避難場所に避難しましょう。広域避難場所は、30 ページ～ 43 ページのハザードマップで確認できます。

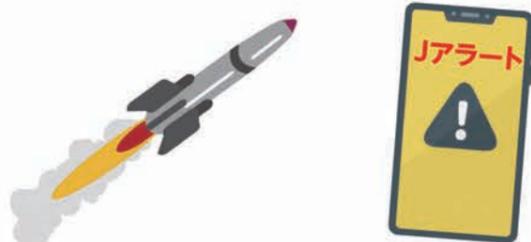


## 武力攻撃やテロから身の安全を守るために

武力攻撃や大規模テロなどから国民の生命、身体、財産を保護するため緊急の必要があると認めるときは、国が警報や避難の指示を出します。

### 弾道ミサイルへの対応

- Jアラートが発表されたら  
弾道ミサイルは、数分以内に日本に着弾します。すぐに行動しましょう。
- 屋内にいる場合  
ドアや窓を全部閉めて、ガス、水道、換気扇を止め、できれば窓のない部屋へ移動しましょう。
- 屋外にいる場合  
近くの建物や地下に避難しましょう。  
近くに適切な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守りましょう。



### 武力攻撃やテロの避難

- 武力攻撃  
うわさやインターネットに惑わされることのないように、テレビやラジオなどで確認し情報を集めましょう。
- テロ  
不要な外出は避け、人が集まる場所には近づかないようにしましょう。避難が必要な時は市が指示を出します。
- 外出先でテロにあった場合  
落ち着いて行動し、自分の身を守る行動をしてください。近くで爆発や火災があった場合は、すみやかにその場から離れ、警察官、消防官などがいればその指示に従ってください。



## 大雪から身を守る

- 不要不急の外出は極力控えましょう。
- スタッドレスタイヤやチェーンを装着していない車両は使用を控えてください。
- やむを得ず徒歩で出かける場合は、滑りにくい長靴等を履き、足元に十分に注意しましょう。軒下のそばには近づかないようにしましょう。(屋根から雪が滑り落ちてくる可能性があります)。
- 除雪や雪下ろしは、命綱やヘルメット、滑りにくい靴を着用して必ず2人以上で行います。

## 火山災害

富士山と箱根山は噴火のおそれが指摘されています。海老名市は、富士山山頂から直線距離で約60kmあるため、静岡県、山梨県、神奈川県などで構成される「富士山火山防災対策協議会」において、予想される被害は降灰のみとされています。宝永噴火と同等の噴火があった場合、噴火後、約2週間で10cm～30cmの降灰が予想されています。

大量の火山灰が降った場合は、停電や断水のおそれがあるほか、外出が困難になることが予想されるため、各家庭での水や食料の備蓄が重要となります。



## 落雷から身を守る

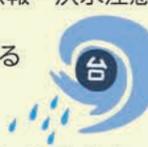
- 樹木など高いものには近づかない。
- グラウンドなど開けた場所では、人に直撃しやすくなります。頑丈な建物に避難しましょう。
- 安全な場所がないときは、電柱など高い物体から4m以上離れた場所に退避し、姿勢を低くしましょう。



# 風水害から身を守るための「マイタイムライン」



「マイ・タイムライン」は、台風の接近など大雨が予想される際に、自分自身がとるべき標準的な防災行動計画です。台風等の風水害に備え、日頃から「あなたの行動」を確認しておきましょう。このタイムラインは風水害に対する基本的な流れを目安としたものです。市の情報などは、気象状況や地理的要因によって、必ずしもこの順番で発令されるとは限らないので、注意してください。

時間	現象・気象・情報	事前に確認しておく情報	あなたの行動									
日常	<p>◆ 自分の地域を知る</p>  <p>◆ 台風や大雨の予報 (警戒レベル1 早期注意情報(警報級の可能性))</p> <p>◆ 城山ダム緊急放流事前情報 (緊急放流を行うおそれ・事前放流)</p> <p>◆ 顕著な大雨に関する気象情報 (線状降水帯)</p> <p>◆ 警戒レベル2 大雨注意報・洪水注意報・強風注意報</p> <p>* 大雨となる</p>  <p>◆ 大雨警報 (土砂災害、浸水害)・洪水警報・暴風警報</p> <p>* 河川の水位が上昇</p>  <p>◆ 城山ダム緊急放流見込み情報</p> <p>* 大雨・台風に関する気象庁の記者会見 (最大級の呼び掛け)</p>	<p>市の防災マップ (洪水ハザードマップ) をもとに <b>自分の住んでいる地域のハザード (洪水、土砂災害) を確認する</b></p> <p>海老名市 防災マップ <input type="button" value="検索"/></p> <p>海老名防災マップ</p> <p>Android版  ios版 </p> <p>今すぐダウンロードにゃ!</p> <p>海老名市よりお知らせします。台風第○号は、強い勢力で○日夜の初めごろから…今後の台風情報に注意するとともに、物が飛ばないように固定するなど事前の備えをしてください</p> <p>えびなメールサービス 携帯電話・スマートフォンに防災情報などを電子メールで配信するサービスです</p> <p>今すぐ登録にゃ!</p> <p>PC・スマートフォン  フューチャーフォン (ガラケー) </p> <p>えびなメールサービス</p> <p>海老名市よりお知らせします。非常に強い台風第○号は、勢力を維持…なお、今後の情報に注意してください。</p> <p><b>避難所の開設状況を確認!</b> 市ホームページやえびなメールサービス、tvkデータ放送などで、避難所の開設状況が確認できます</p> 	<p><b>あなたの住んでいる地域の危険は何ですか? P30～P43を確認</b></p> <p><input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域等</p> <p><b>住んでいる場所の浸水深は?</b></p> <table border="1"> <tr><td>①</td><td>川</td><td>m</td></tr> <tr><td>②</td><td>川</td><td>m</td></tr> <tr><td>③</td><td>川</td><td>m</td></tr> </table> <p><b>あなたやあなたの家族に、避難の際、配慮を必要とする方はいますか?</b></p> <p><input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>洪水時の避難として自宅の2階(一般的な木造家屋)では安全が確保できない可能性がある(浸水深3m以上)、土砂災害発生危険がある、避難に時間がかかる場合には避難所など安全な場所への早めの避難が必要です</p> <p><b>家族の情報、決まり事等</b></p>  <p><b>台風が接近する前 あなたの対策は? (完了したら☑を入れてみましょう)</b></p> <p><input type="checkbox"/> 強風で飛ばされそうな物品の片づけ、固定をする</p> <p><input type="checkbox"/> 土のうの準備などの自宅の浸水対策を実施する</p> <p><input type="checkbox"/> テレビ、ラジオ、スマートフォン等から気象や河川の状況を確認する</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><b>非常持出品をチェックしましょう! (足りないものは買い出します)</b></p> <p><input type="checkbox"/> ヘッドライト (懐中電灯)</p> <p><input type="checkbox"/> 体育館シューズ</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯ラジオ</p> <p><input type="checkbox"/> 食料、飲料水</p> <p><input type="checkbox"/> 持病の薬</p> <p><input type="checkbox"/> 携帯電話 (充電器)</p> <p><input type="checkbox"/> 個人的に必要なもの</p> <p>*たとえば、哺乳ビン、おむつ、予備メガネなど準備するものはありますか?</p>  <p><b>避難するタイミングは?→ (完了したら☑を入れてみましょう)</b></p> <p><input type="checkbox"/> (自宅に) 警戒レベル3 高齢者等避難が発令されたとき</p> <p><input type="checkbox"/> (自宅に) 警戒レベル4 避難指示が発令されたとき</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p> <p>(自宅が避難指示の発令区域内にある場合は避難しましょう)</p> <p><b>避難する際の行動は? (完了したら☑を入れてみましょう)</b></p> <p><input type="checkbox"/> 周囲の状況、防災気象情報に注意する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難所 ( ) の開設状況を確認する</p> <p><input type="checkbox"/> 家族、知人等に ( ) に避難することを伝える</p> <p><input type="checkbox"/> 火の元、戸締りを確認する</p> <p><input type="checkbox"/> 知人、親類宅など近隣の安全な場所へ避難する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難を開始する</p> <p><b>命を守る!</b> 避難所への避難経路が危険であると自ら判断した場合には、命を守るために高い場所へ移動する</p> 	①	川	m	②	川	m	③	川	m
①	川	m										
②	川	m										
③	川	m										
数時間前	<p>* 道路の冠水が始まる</p> <p>* 河川の水位が「避難判断水位」に到達</p> <p><b>警戒レベル3 高齢者等避難</b></p>	<p>高齢者など避難に時間のかかる方とその支援者(家族等)は避難を開始する</p> <p>土砂災害の危険性がある区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いでは避難準備が整い次第、避難所などに避難する</p> 										
	<p>* 大雨が一層激しくなる</p> <p>◆ 土砂災害警戒情報</p> <p>* 河川の水位が「氾濫危険水位」に到達</p> <p><b>警戒レベル4 避難指示</b></p>	<p>避難所などへ速やかに避難する (避難完了)</p> <p>危険な場所から全員避難する</p>										
台風の上陸線状降水帯の発生など	<p>◆ 城山ダムの緊急放流</p> <p>◆ 記録的短時間大雨情報</p> <p>◆ 大雨特別警報 [氾濫発生情報]</p> <p><b>警戒レベル5 緊急安全確保</b></p>	<p><b>すでに災害が発生している状況です 命を守るための最善の行動をとりましょう</b></p>										

マイタイムライン

マイタイムライン

災害が発生したときは、すぐに避難しなければなりません。避難する場合に備えて、日頃からリュックサック等に感染症対策を含めた必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。



## 非常持出品をチェック

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日2~3リットル目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディー等) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと哺乳瓶 (赤ちゃんがいる場合) ◎3日以上(できれば1週間分程度)を備蓄しておきましょう。	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬等) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 手指消毒液 <input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証等 (身分を証明するもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手のものと薄手のもの) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> 履物(スリッパなど)	<input type="checkbox"/> ポリ袋、ビニール袋 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性ペン) <input type="checkbox"/> 洗面用具	<input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> トイレ袋 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ) <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 間仕切り(テント等)

※赤字は、感染症対策品です。

## ペットのための備えは飼い主の責任です

### ペットのために必要な避難用品

- 3日分の餌(ドライフード)
- 3日分の水
- 容器(餌用)
- リード・首輪
- 排せつ物を取るための道具
- ペットシート



### ● ケージやキャリーを用意してください

ご自身でケージやキャリーバッグを用意して、印をつけておきましょう。ペットをキャリーバッグに入れて避難することで、逃げてしまったり、けがなどの事故防止にもつながります。

### ● 基本的なしつけが必要です

避難先には、大勢の方が集まってきます。ペットと共に避難生活を送るためにはむやみに吠えない、「待て」ができるなどしつけを行うことが大切です。また、動物が苦手な方へ配慮も必要です。



# 家庭内流通備蓄

## 「家庭内流通備蓄」を心がけましょう

日ごろ利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入し使い回しながら、いざという時に備えておく方法です。



### 自宅で備えることの重要性

電気、ガス、水道などのライフラインの途絶や、物資供給の停滞が想定されます。自宅の倒壊などを免れた多くの市民は、発災後も自宅にとどまって当面生活することが想定されますので、各家庭で最低3日分(できれば1週間分程度)の生活必需品を用意しましょう。

- 以下のリストは、最低限備えておくべき物の例示です。一人ひとりが自分に合ったものと考えて備えましょう。

### 食品

- ・水(飲料水、調理用など)
- ・主食(米、レトルトご飯、乾麺など)
- ・副食(レトルト食品など)
- ・缶詰(肉、魚、果物など)
- ・野菜ジュース
- ・加熱せずに食べられるもの(ソーセージ、かまぼこ、チーズなど)
- ・調味料(味噌、醤油、砂糖など)
- ・菓子類
- ・栄養補助食品

### 生活用品

- ・懐中電灯
- ・乾電池
- ・持病の薬、常備薬
- ・生活用水
- ・ラジオ
- ・トイレ袋
- ・ライター
- ・カセットコンロ、ボンベ
- ・大型ゴミ袋、ゴミ袋
- ・携帯電話の予備のバッテリー
- ・生理用品
- ・ティッシュペーパー
- ・ウェットティッシュ
- ・使い捨てカイロ
- ・ブルーシート
- ・ガムテープ

その他、買えなくなると困るものは、家庭内流通備蓄をしましょう!

# 正しい情報で、適切な行動

## 市からの情報提供

市では様々な手段で情報提供を行っています。

### 防災行政無線（音声案内）

防災行政無線は立地や気象などの影響を受けやすいことから、聞き取りにくい方のために音声案内でも提供しています。



【音声案内の番号】

電話 046-235-1949 (有料)

### 海老名市 LINE 公式アカウント えびなメールサービス

防災行政無線情報、警察からのお知らせなど、市民の皆様に役立つ情報を配信しています。

#### 【LINE 登録方法】

QRコードを読み取り、「海老名市」を友だち登録の上、「受信設定」の情報分野のうち、「防災・防犯」など必要な情報にチェックを入れてください。



#### 【えびなメールサービス登録方法】

QRコードを読み取って空メールを送信。送信メールに登録方法が記載されています。[@city.ebina.kanagawa.jp] のドメインが受信できるよう、設定してください。



PC・スマートフォン



フューチャーフォン (ガラケー)

### X (旧ツイッター)

市の災害関連情報を発信します。

#### 【アカウント】

海老名市災害情報 (@ebina\_kikikanri)



### エリアメール・緊急速報メール

市内のエリア内にいる人の携帯電話に、情報を一斉配信します。\*お使いの携帯電話が対応機種であるかの確認は各携帯電話会社にお問い合わせください。



### テレビ神奈川 (tvk) データ放送

えびなメールサービスの配信内容がみられます。



### コミュニティ FM

FMカオン 84.2MHz (海老名エフエム放送株式会社) と「災害時等における災害情報等の放送に関する協定」を締結し、情報の提供をします。



### 防災ラジオ (有償提供)

防災行政無線で放送している内容を、防災ラジオで聞くことができます。



通常のラジオを聞いていても防災行政無線を受信した場合には、強制的に割り込んで防災放送が流れます。

### 海老名市防災ホームページ

<http://www.bousai.city.ebina.kanagawa.jp/>



### 海老名市ホームページ

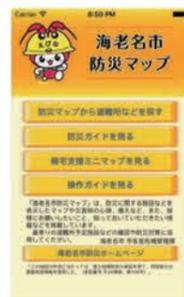
<http://www.city.ebina.kanagawa.jp/>



### もしもの時に役立つ「海老名市防災マップ」

市が作成した「海老名市防災マップ」アプリケーションです。

防災関連の施設や浸水想定区域などを表示することができる「防災マップ」ページと災害時の心得や備え、皆様にお願ひしたいこと、帰宅支援ミニマップなどを掲載した「防災ガイド」ページで構成しています。ダウンロードしておくことで、インターネットに繋がらない環境でもご利用が可能です。日ごろの防災対策にもご活用ください。



Android 版



ios 版



# 避難所一覧表

開設される避難所やその運用方法は、災害の種類・程度によって異なります。

災害時等には、防災ホームページ (P28 参照) 等にて開設情報を確認の上、安全に避難できる施設へお越しください。

## 避難所予定施設

「避難所予定施設」は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、避難所として開設する予定の施設で、避難を余儀なくされた者などの生命及び身体の安全を一定の期間又は一時的に保護する施設です。

施設番号	施設名称	所在地	施設番号	施設名称	所在地
1	柏ヶ谷コミセン	東柏ヶ谷 2-14-12	17	東柏ヶ谷小学校	東柏ヶ谷 6-9-7
2	大谷コミセン	大谷南 4-21-1	18	上星小学校	上今泉 1-23-1
3	中新田コミセン	中新田 2-16-14	19	有鹿小学校	河原口 3-13-1
4	上今泉コミセン	上今泉 1-5-32	20	中新田小学校	中新田 1-15-1
5	国分コミセン	国分南 4-14-1	21	大谷小学校	国分寺台 2-13-1
6	杉久保コミセン	杉久保北 2-18-15	22	有馬小学校及び有馬中学校	中河内 1784 及び本郷 4601
7	門沢橋コミセン及び有馬図書館	門沢橋 1-20-41	23	社家小学校	社家 5-10-1
8	本郷コミセン	本郷 4626-1	24	門沢橋小学校	門沢橋 1-19-1
9	社家コミセン	社家 3-18-1	25	杉久保小学校	杉久保北 4-4-1
10	下今泉コミセン	下今泉 1-17-55	26	今泉小学校	上今泉 2028
11	勝瀬文化センター	勝瀬 4-40	27	杉本小学校	国分北 4-10-1
12	国分寺台文化センター	国分寺台 2-10-23	28	海老名中学校	国分南 3-11-1
13	北部公園体育館	上今泉 6-14-1	29	海西中学校	さつき町 58
14	えびな市民活動センター (ピナレッジ)	さつき町 51-2	30	柏ヶ谷中学校	柏ヶ谷 1-13-1
15	海老名小学校	国分南 3-12-3	31	大谷中学校	大谷南 2-10-1
16	柏ヶ谷小学校	柏ヶ谷 2-6-1	32	今泉中学校	上今泉 1840

## 補完避難所予定施設

「補完避難所予定施設」は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、避難を余儀なくされた者などを既に開設している避難所に収容しきれない場合などに、それを補完する避難所として開設する予定の施設で、避難を余儀なくされた者などの生命及び身体の安全を一定の期間又は一時的に保護する施設です。

施設番号	施設名称	所在地	施設番号	施設名称	所在地
33	県立中央農業高等学校	中新田 4-12-1	36	県立かながわ農業アカデミー	杉久保北 5-1-1
34	県立海老名高等学校	中新田 1-26-1	37	県立えびな支援学校	中新田 4-5-1
35	県立有馬高等学校	社家 5-27-1			

## 福祉避難所予定施設

「福祉避難所予定施設」は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に開設する予定の施設で、通常の避難所における居室での生活が困難で福祉的支援が必要な要配慮者の生命及び身体の安全を一定の期間又は一時的に保護する施設です。

対象施設は、「32 施設すべての避難所予定施設内にある『要配慮者居住エリア』」です。

その他、次の施設も福祉避難所予定施設として位置づけられていますが、市から特定された方などが対象となります。

一次福祉避難所予定施設 (単館型) 市が事前に特定した重度の障がいをお持ちの方とその家族が対象の施設です。

施設番号	施設名称	所在地	施設番号	施設名称	所在地
38	わかば会館	中新田 383- 1	39	障害者支援センターあきば	上今泉 6-11-20

二次福祉避難所予定施設 「避難所予定施設内にある『要配慮者居住エリア』」での生活が困難な方向けに、発災後 3 日以内を目安に開設する施設です

施設番号	施設名称	所在地
40	総合福祉会館	めぐみ町 6- 3

## 一時滞在所予定施設

「一時滞在所予定施設」は、災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、一時滞在所として開設する予定の施設で、鉄道などの運行の中止などにより徒歩などで帰宅する駅滞留者又は交通機関の不調などにより交通機関情報を収集する帰宅困難者の生命及び身体の安全を一時的に保護する施設です。

施設番号	施設名称	所在地
41	文化会館及び中央図書館	めぐみ町 6-1 及びめぐみ町 7-1

# ハザードマップ目次

この地図は、神奈川県が作成した相模川、目久尻川、鳩川、永池川が洪水を起こした場合の目安と相模川の家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域を示したものです。なお、内水については、市で作成したものです。

これらの情報は、水防法及び土砂災害防止法に準拠したものです。

## 想定降雨

- 相模川……おおむね1000年に1回程度起こる大雨で、48時間で567mmの降雨  
浸水解析 想定降雨により、破堤地点219ケースと破堤なしの越水による1ケースの計220ケースにより浸水を解析したものです。  
※破堤する箇所により、浸水する範囲や開設できる避難所などは異なります。
- 目久尻川……24時間で398mmの降雨
- 鳩川……24時間で326mmの降雨
- 永池川……24時間で304mmの降雨
- 内水……1時間で153mmの降雨

## 広域避難場所

「広域避難場所」は、火災が発生し、さらに延焼拡大し、その輻射熱から身を保護するのに十分な広さを持つ場所で、身の周辺若しくは地域全体が危険な状態になったとき又はそのおそれがあるときに避難する場所です。

※各河川沿いは周辺一帯を河川としてデータ処理しているため、色が表示されていない部分がありますが、周辺の浸水色と同様になりますので、注意してください。

浸水想定・土砂災害警戒区域内にある「要配慮者利用施設」については、海老名市防災ホームページ(P28参照)のうち、「海老名市防災ガイドブック」のページをご覧ください。



各河川に設置されている「河川監視カメラ」及び「水位計」の状況は、次のURLでご覧いただけます。

### ○神奈川県「雨量水位情報」

[https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web\\_geral/suibou\\_joho/html/map/area/p10060\\_13.html](https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_geral/suibou_joho/html/map/area/p10060_13.html)

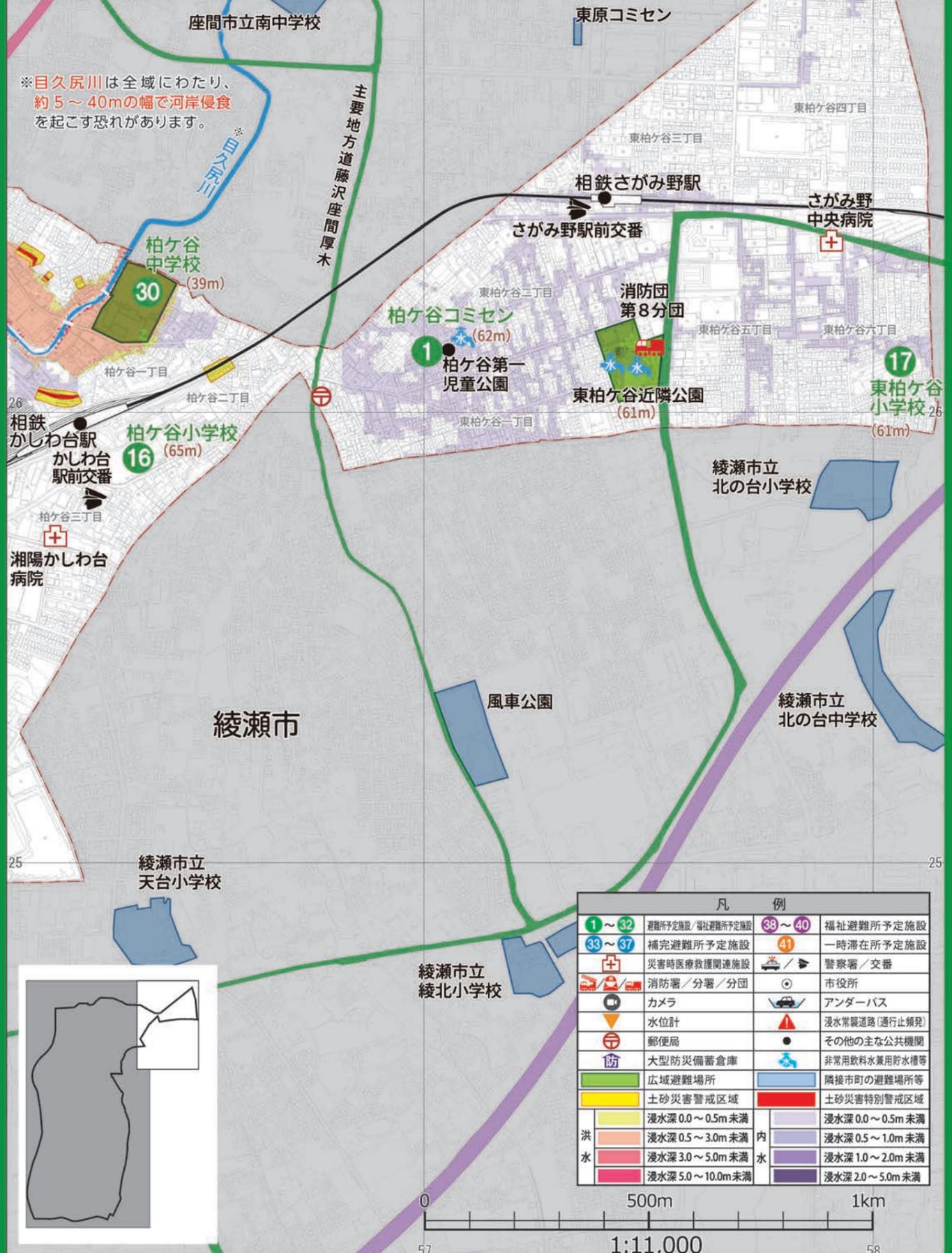


### ○国土交通省「川の防災情報」

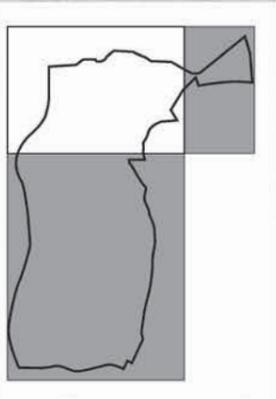
<https://www.river.go.jp/index/twninfo/pc?prefCd=1401&type=obs&tm=cctv&twnCd=1401215>



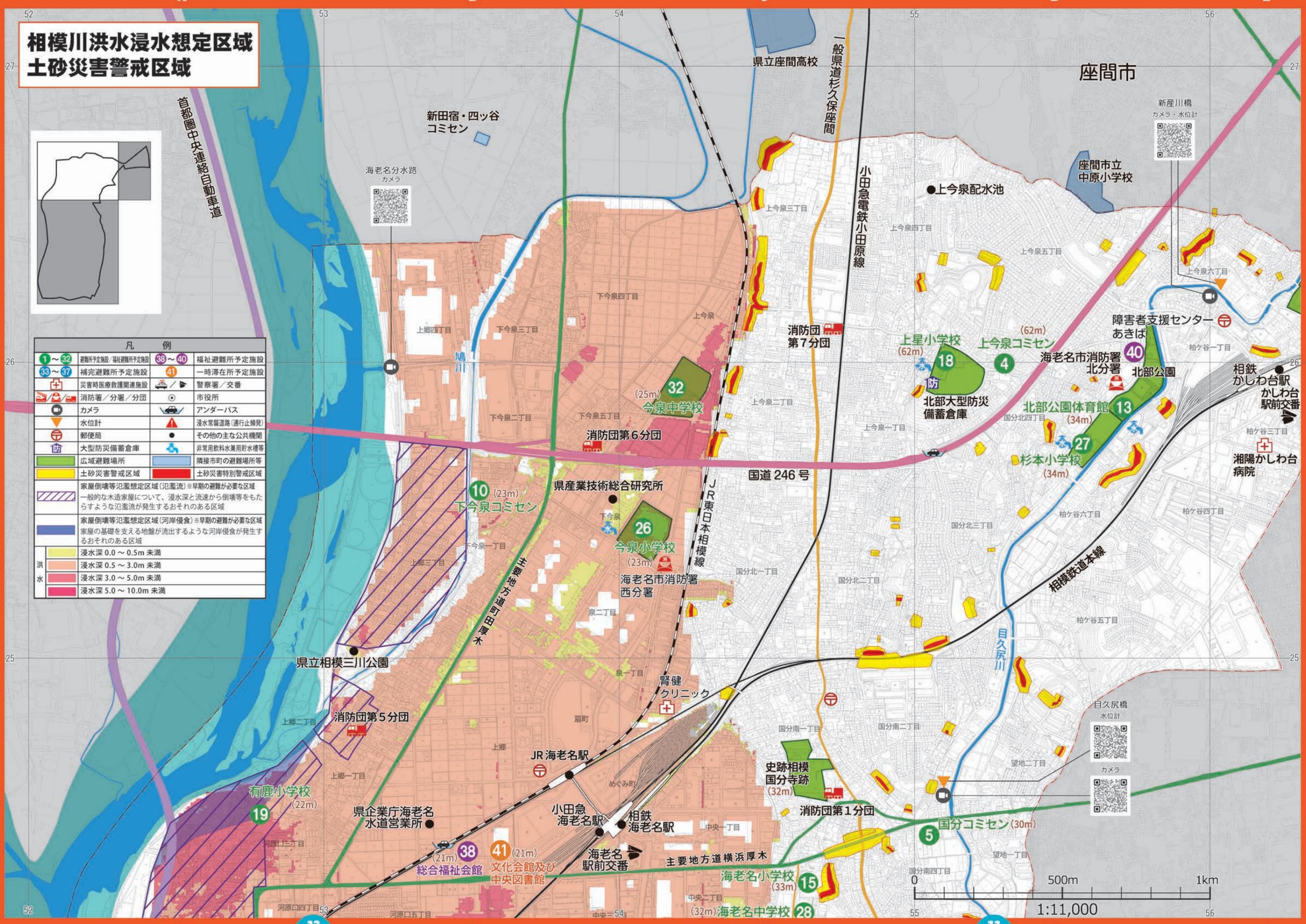
## 目久尻川洪水・内水浸水想定区域 土砂災害警戒区域



# 相模川洪水浸水想定区域 土砂災害警戒区域

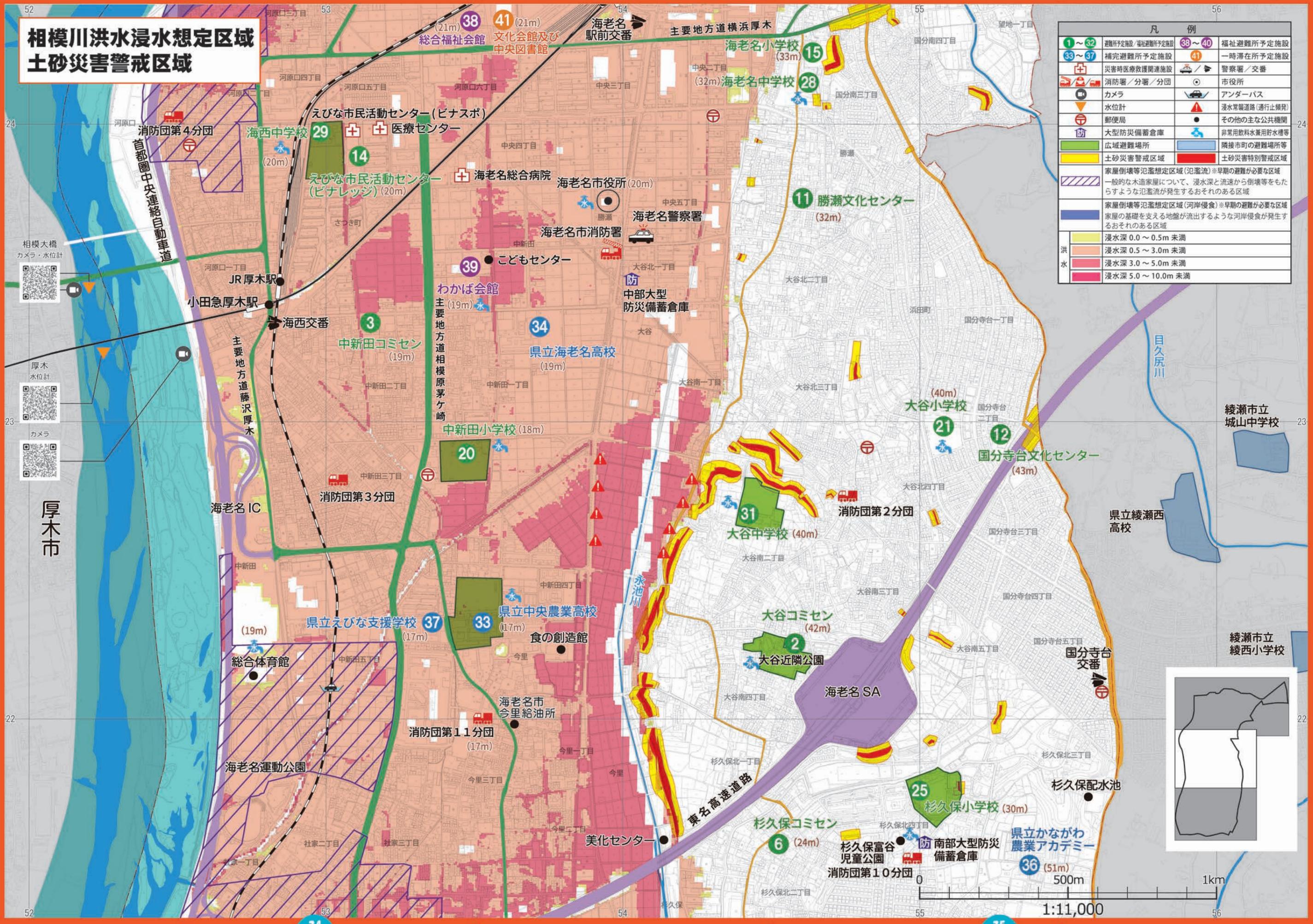


凡 例			
1~32	避難所予定施設/福祉避難所予定施設	33~40	福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設	41	一時滞在所予定施設
+	災害時医療救護関連施設	警察署/交番	
消防署/分署/分団		市役所	
カメラ		アンダーパス	
水位計		浸水常盤道路(通行止発)	
郵便局		その他の主な公共機関	
大型防災備蓄倉庫		非常用飲料水兼用貯水槽等	
広域避難場所		隣接市町の避難場所等	
土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	※早期の避難が必要な区域		
一般的な木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域			
家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)	※早期の避難が必要な区域		
家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸侵食が発生するおそれのある区域			
浸水深 0.0 ~ 0.5m 未満			
浸水深 0.5 ~ 3.0m 未満			
浸水深 3.0 ~ 5.0m 未満			
浸水深 5.0 ~ 10.0m 未満			

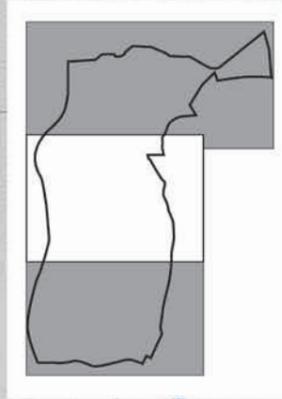


# 相模川洪水浸水想定区域 土砂災害警戒区域

凡 例			
1~32	避難所予定施設/福祉避難所予定施設	38~40	福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設	41	一時滞在所予定施設
+	災害時医療救護関連施設	警察署/交番	
消防署/分署/分団		市役所	
カメラ		アンダーパス	
水位計		浸水常襲道路(通行止頻発)	
郵便局		その他の主な公共機関	
防	大型防災備蓄倉庫	非常用飲料水兼用貯水槽等	
緑色	広域避難場所	隣接市町の避難場所等	
黄色	土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	
斜線	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)※早期の避難が必要な区域 一般的な木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域		
斜線	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)※早期の避難が必要な区域 家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸侵食が発生するおそれのある区域		
0.0~0.5m	浸水深 0.0 ~ 0.5m 未満		
0.5~3.0m	浸水深 0.5 ~ 3.0m 未満		
3.0~5.0m	浸水深 3.0 ~ 5.0m 未満		
5.0~10.0m	浸水深 5.0 ~ 10.0m 未満		



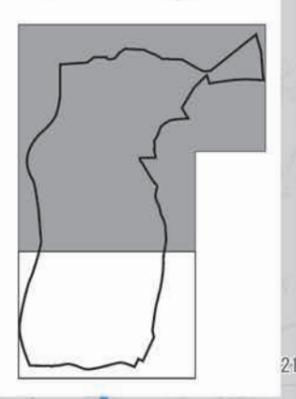
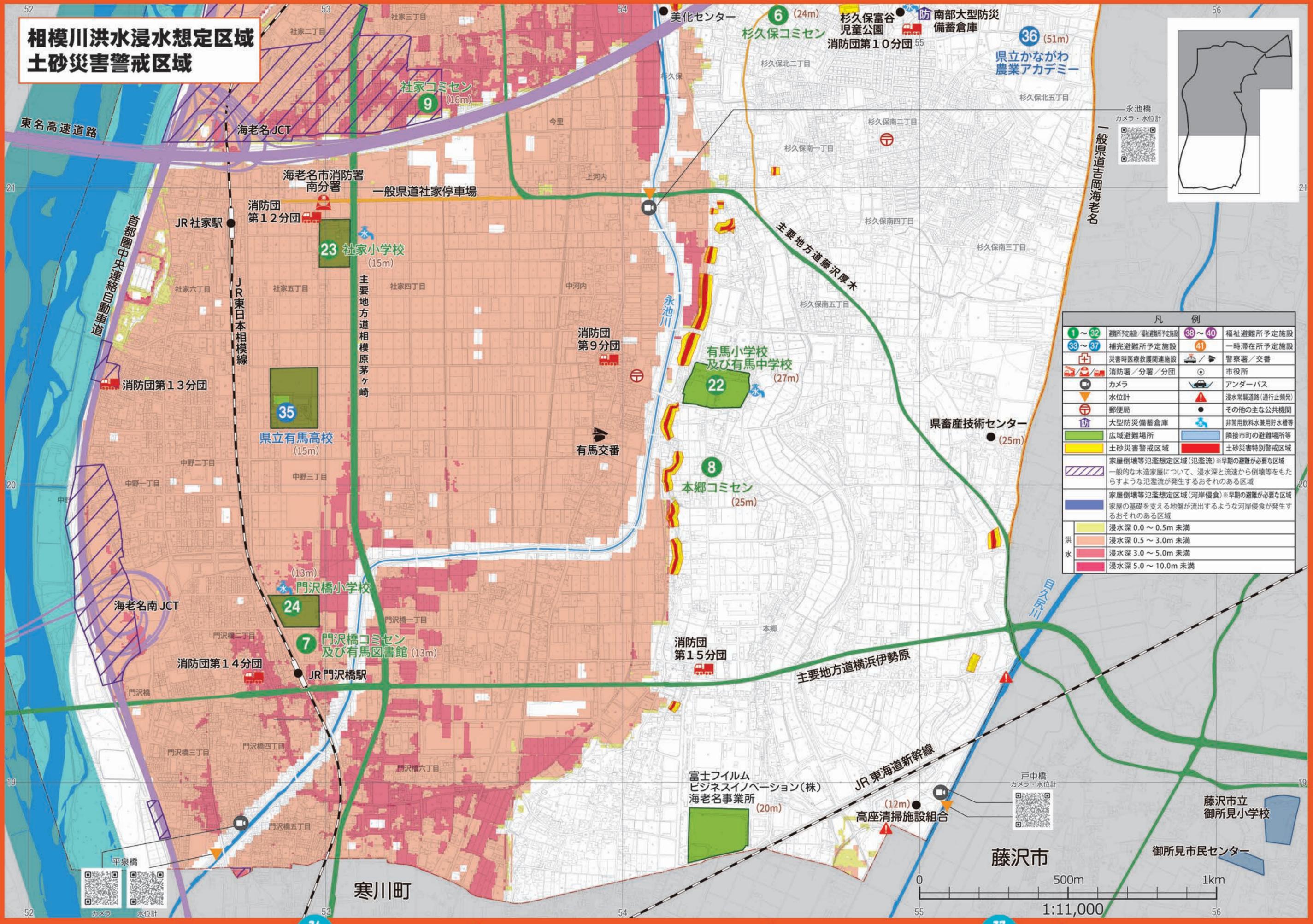
厚木市



1:11,000

0 500m 1km

# 相模川洪水浸水想定区域 土砂災害警戒区域



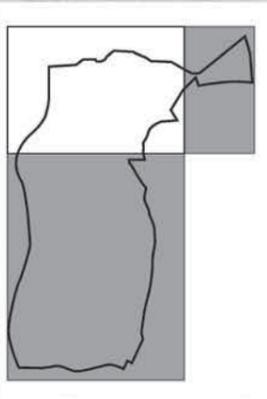
凡 例		
1~32	避難所予定施設/福祉避難所予定施設	38~40 福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設	41 一時滞在所予定施設
+	災害時医療救護関連施設	警察署/交番
消防団	消防署/分署/分団	市役所
カメラ	水位計	アンダーパス
郵便局	大型防災備蓄倉庫	浸水常設道路(通行止頒発)
広域避難場所	隣接市町の避難場所等	その他の主な公共機関
土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域	非常用飲料水兼用貯水槽等
家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)	
<small>※早期の避難が必要な区域 一般的な木造家屋について、浸水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域</small>		
<small>※早期の避難が必要な区域 家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸侵食が発生するおそれのある区域</small>		
洪水	浸水深 0.0 ~ 0.5m 未満	
	浸水深 0.5 ~ 3.0m 未満	
	浸水深 3.0 ~ 5.0m 未満	
	浸水深 5.0 ~ 10.0m 未満	



36

37

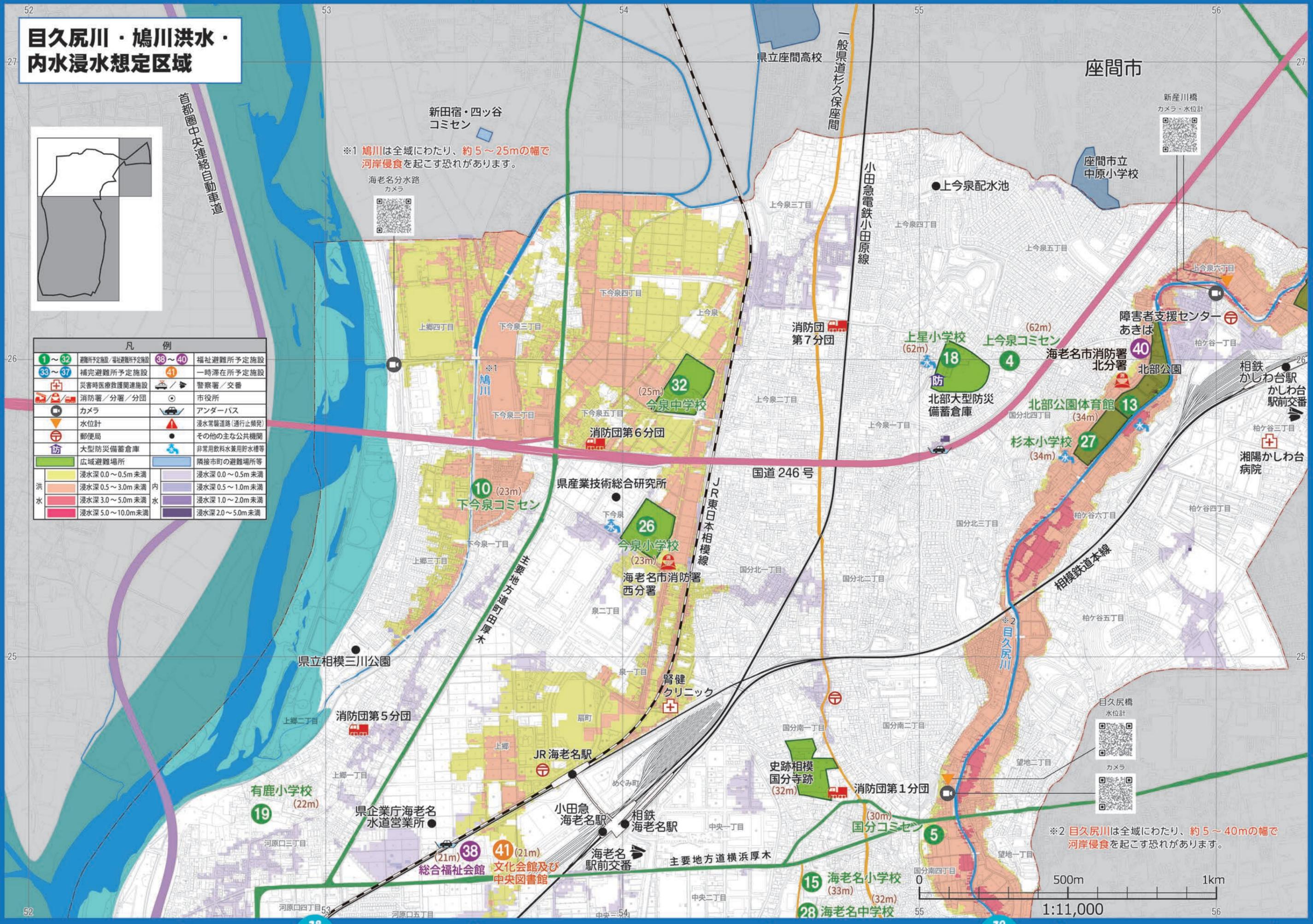
# 目久尻川・鳩川洪水・内水浸水想定区域



凡 例	
1~32	避難所予定施設/福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設
+	災害時医療救護関連施設
消防署/分署/分団	市役所
カメラ	アンダーパス
水位計	浸水常備道路(通行止頻発)
郵便局	その他の主な公共機関
大型防災備蓄倉庫	非常用飲料水兼用貯水槽等
広域避難場所	隣接市町の避難場所等
洪水	浸水深0.0~0.5m未満
	浸水深0.5~3.0m未満
	浸水深3.0~5.0m未満
	浸水深5.0~10.0m未満
	浸水深0.0~0.5m未満
	浸水深0.5~1.0m未満
	浸水深1.0~2.0m未満
	浸水深2.0~5.0m未満

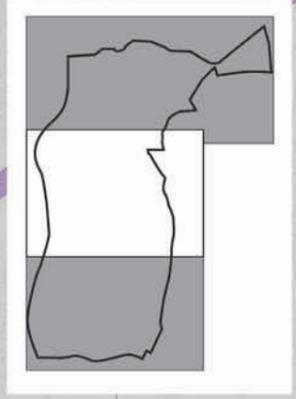
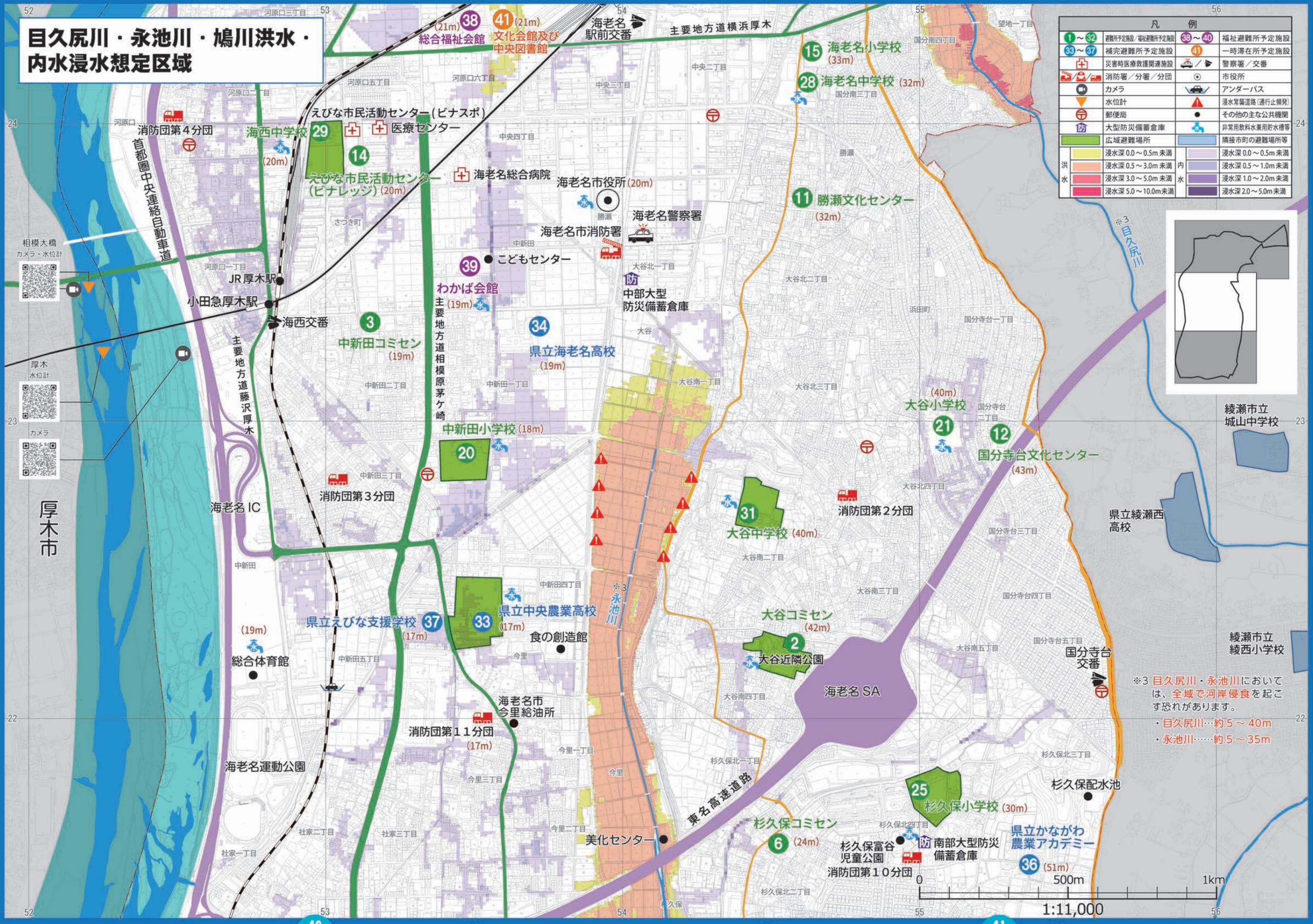
※1 鳩川は全域にわたり、約5~25mの幅で河岸侵食を起こす恐れがあります。

※2 目久尻川は全域にわたり、約5~40mの幅で河岸侵食を起こす恐れがあります。



# 目久尻川・永池川・鳩川洪水・内水浸水想定区域

凡 例			
1~32	避難所予定施設/警備所予定施設	38~40	福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設	41	一時滞在所予定施設
+	災害時医療救護関連施設	警察署/交番	
消防署/分署/分団		市役所	
カメラ		アンダーパス	
水位計		浸水常設道路(通行止頻発)	
郵便局		その他の主な公共機関	
大型防災備蓄倉庫		非常用飲料水兼用貯水槽等	
広域避難場所		隣接市町の避難場所等	
浸水深 0.0~0.5m 未満		浸水深 0.0~0.5m 未満	
浸水深 0.5~3.0m 未満		浸水深 0.5~1.0m 未満	
浸水深 3.0~5.0m 未満		浸水深 1.0~2.0m 未満	
浸水深 5.0~10.0m 未満		浸水深 2.0~5.0m 未満	

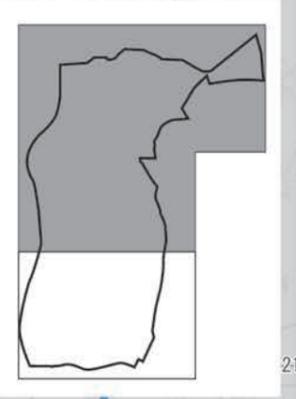
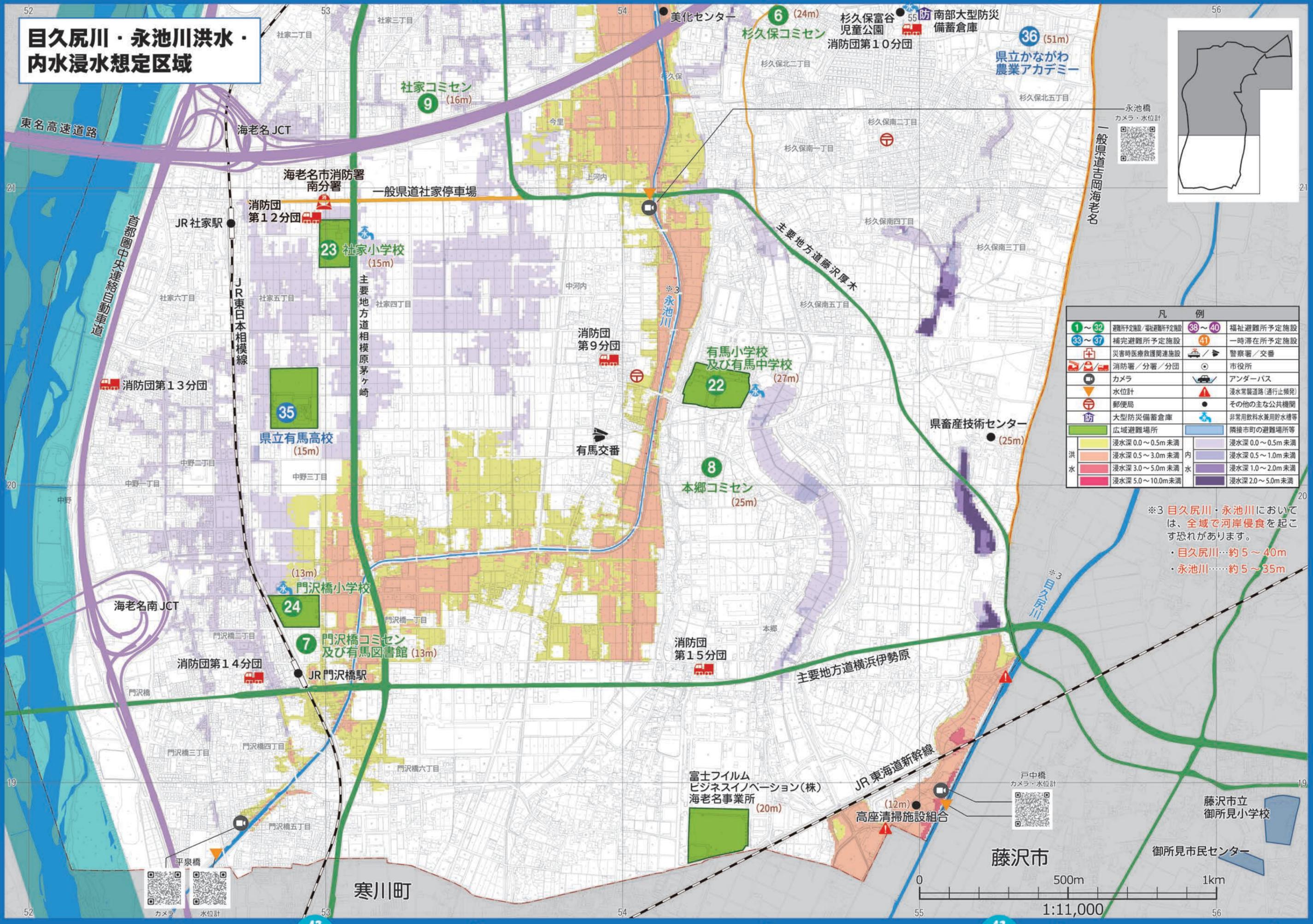


※3 目久尻川・永池川においては、全域で河岸侵食を起こす恐れがあります。  
 ・目久尻川…約5~40m  
 ・永池川…約5~35m

1:11,000

0 500m 1km

# 目久尻川・永池川洪水・内水浸水想定区域



永池橋  
カメラ・水位計

一般県道市道海老名

凡 例			
1~32	避難所予定施設/福祉避難所予定施設	33~40	福祉避難所予定施設
33~37	補完避難所予定施設	41	一時滞在所予定施設
+	災害時医療救護関連施設	警察署/交番	
消防団	消防署/分署/分団	市役所	
カメラ	カメラ	アンダーパス	
水位計	水位計	浸水常態道路(通行止頻発)	
郵便局	郵便局	その他の主な公共機関	
防	大型防災備蓄倉庫	非常用飲料水兼用貯水槽等	
広域避難場所	広域避難場所	隣接市町の避難場所等	
洪水	浸水深 0.0~0.5m 未満	内水	浸水深 0.0~0.5m 未満
	浸水深 0.5~3.0m 未満		浸水深 0.5~1.0m 未満
	浸水深 3.0~5.0m 未満		浸水深 1.0~2.0m 未満
	浸水深 5.0~10.0m 未満		浸水深 2.0~5.0m 未満

※3 目久尻川・永池川においては、全域で河岸侵食を起こす恐れがあります。  
 ・目久尻川…約5~40m  
 ・永池川…約5~35m



戸中橋  
カメラ・水位計



平泉橋  
カメラ 水位計



藤沢市

寒川町

富士フィルム  
ビジネスソリューション(株)  
海老名事業所 (20m)

高座清掃施設組合 (12m)

藤沢市立  
御所見小学校

御所見市民センター

JR東日本相模線

JR 社家駅

県立有馬高校 (15m)

社家小学校 (15m)

有馬小学校  
及び有馬中学校 (27m)

本郷コミセン (25m)

県畜産技術センター (25m)

門沢橋小学校 (13m)

門沢橋コミセン  
及び有馬図書館 (13m)

JR 門沢橋駅

消防団  
第15分団

JR 東海道新幹線

海老名南JCT

消防団第14分団

門沢橋

門沢橋三丁目

門沢橋四丁目

門沢橋五丁目

門沢橋六丁目

門沢橋七丁目

門沢橋八丁目

門沢橋九丁目

門沢橋十丁目

門沢橋十一丁目

門沢橋十二丁目

門沢橋十三丁目

門沢橋十四丁目

門沢橋十五丁目

門沢橋十六丁目

門沢橋十七丁目

門沢橋十八丁目

門沢橋十九丁目

門沢橋二十丁目

門沢橋二十一丁目

門沢橋二十二丁目

門沢橋二十三丁目

門沢橋二十四丁目

門沢橋二十五丁目

門沢橋二十六丁目

門沢橋二十七丁目

門沢橋二十八丁目

門沢橋二十九丁目

門沢橋三十丁目

門沢橋三十一丁目

門沢橋三十二丁目

門沢橋三十三丁目

門沢橋三十四丁目

門沢橋三十五丁目

門沢橋三十六丁目

門沢橋三十七丁目

門沢橋三十八丁目

門沢橋三十九丁目

門沢橋四十丁目

門沢橋四十一丁目

門沢橋四十二丁目

門沢橋四十三丁目

門沢橋四十四丁目

門沢橋四十五丁目

門沢橋四十六丁目

門沢橋四十七丁目

門沢橋四十八丁目

門沢橋四十九丁目

門沢橋五十丁目

門沢橋五十一丁目

門沢橋五十二丁目

門沢橋五十三丁目

門沢橋五十四丁目

門沢橋五十五丁目

門沢橋五十六丁目

門沢橋五十七丁目

門沢橋五十八丁目

門沢橋五十九丁目

門沢橋六十丁目

門沢橋六十一丁目

門沢橋六十二丁目

門沢橋六十三丁目

門沢橋六十四丁目

門沢橋六十五丁目

門沢橋六十六丁目

門沢橋六十七丁目

門沢橋六十八丁目

門沢橋六十九丁目

門沢橋七十丁目

門沢橋七十一丁目

門沢橋七十二丁目

門沢橋七十三丁目

門沢橋七十四丁目

門沢橋七十五丁目

門沢橋七十六丁目

門沢橋七十七丁目

門沢橋七十八丁目

門沢橋七十九丁目

門沢橋八十丁目

門沢橋八十一丁目

門沢橋八十二丁目

門沢橋八十三丁目

門沢橋八十四丁目

門沢橋八十五丁目

門沢橋八十六丁目

門沢橋八十七丁目

門沢橋八十八丁目

門沢橋八十九丁目

門沢橋九十丁目

門沢橋九十一丁目

門沢橋九十二丁目

門沢橋九十三丁目

門沢橋九十四丁目

門沢橋九十五丁目

門沢橋九十六丁目

門沢橋九十七丁目

門沢橋九十八丁目

門沢橋九十九丁目

門沢橋百丁目

## 〈緊急連絡先〉

火 事・救 急 119

警 察 110

災害用伝言ダイヤル 171

### 震災時は電話がつながりにくくなります

家族や大切な人との連絡手段を事前に確認しておきましょう。災害用伝言ダイヤル及び災害用伝言板サービスは、被災地への通話がつながりにくい状況になった場合に提供されます。



## 災害時の声の伝言板 171 災害用伝言ダイヤル

録音方法

171 → 1 → 046 → 自宅の電話番号

案内放送が流れます。

市外局番が必要です。

再生方法

171 → 2 → 046 → 自宅の電話番号

案内放送が流れます。

市外局番が必要です。

## 災害伝言板への安否情報登録及び確認方法

### 登録方法

- ① Menu画面に表示される「火災用伝言板」を選択
- ② 「登録」を選択
- ③ 「無事です」等の状態の選択と100字以内のコメントを入力
- ④ 「登録」を押して完了

### 確認方法

- ① Menu画面に表示される「火災用伝言板」を選択
- ② 「確認」を選択
- ③ 安否を確認したい人の携帯電話番号を入力
- ④ 「検索」を押して伝言を確認

<a href="http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi">http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi</a>	<a href="http://dengon.ezweb.ne.jp/">http://dengon.ezweb.ne.jp/</a>	<a href="http://dengon.softbank.ne.jp/J">http://dengon.softbank.ne.jp/J</a>	<a href="https://bit.ly/3fRe2Pr">https://bit.ly/3fRe2Pr</a>

PHS やパソコンなどからも伝言が確認（災害時のみ）できます。※詳しくは、各携帯電話会社にお問い合わせください。

## 災害時の帰宅困難に備えて

外出時等に災害が発生したら、むやみに移動せず、状況を把握しましょう

- 自分の身の安全を確保する
- 家族の安否や自宅の無事を確認する  
※日頃から家族と連絡を取る方法を決めておきましょう
- 携帯電話やインターネット等を活用し、正確な情報を得る
- 周囲の状況等（交通機関や道路の被害状況）に応じてどのような行動が最も安全なのかを判断し、冷静に行動する（無理に帰宅せず、会社や外出先にとどまる）

## 事業者の皆様へお願い

事業者の皆様には災害の発生に備え、また災害時には次のことについてご協力をお願いします。

- 顧客や従業員の安全の確保
- 避難経路、避難場所、避難方法等の確認や周知
- 帰宅困難となった従業員などの事業所内等への留め置き
- 飲料水、食料やその他必要物資の3日以上1週間分程度の備蓄



このポケットには、市から配布されている防災関係の安否確認フラッグなどを入れて活用してにゃ！



# 災害時に備えて避難場所や 家族の連絡先を記入しましょう

## ▶ 最寄りの避難先など

広域避難場所	
避難所予定施設	
家族の集合場所	

## ▶ 風水害時の避難先

安全な親類・ 知人宅など	
高台の避難所	

## ▶ 家族の連絡先

名前	会社・学校等	電話番号

## ▶ ライフラインの連絡先

会社名	電話番号
電気( )	
ガス( )	
水道( )	

